

イメージしてください。

超ミニはいてボーリングしていた、お母さんの青春。

髪を肩まで伸ばしてフォークを歌った、お父さんの青春。

あの頃の思い出が、写真が、いま鮮やかによみがえります。



Before



After

ある雑誌が、10代の女の子からの「うちの父は、むかしフラワーチルドレンでした(笑)」という投書載せていました。かつて学生集会やフォークジャンボリーに出かけた世代。ジャズ喫茶やボーリング場や名画座の青春。サイケやヒッピーや、ナントカ族だった皆さん、お元気ですか？
いまの若者たちの親が、ナウなヤングだった頃(笑)・・・隠さないで見せてください、その頃の写真を。恋や音楽やスポーツに夢中だった話をすれば、青春はいまも昔も変わらない。でもやっぱ、超ロングのお父さん、超オカシイ。その写真は、つい昨日のようですか。遥か昔のようですか。
心には鮮やかでも、保存状態によって色褪せてしまった写真。心にネガはあっても、ネガをなくしてしまった大切な写真。おまかせください。フジフィルムの「ピクトロプリント」サービスが、21世紀のデジタル技術で、青春の映像を鮮やかにプレイバックいたします。今回は実証のためにあの憧れの中山律子さんの写真をお借りしてきました。30年前の思い出のひとつ。保存状態が悪くなって色褪せてしまった写真でも、自動的に復元して色鮮やかなプリントをおつくりいたします。大伸ばしやトリミングもできます。プリントからプリントへ焼き増すサービスですので、ネガがなくても大丈夫。どうです、時代なんて感じないでしょ。その色がよみがえれば、いまも変わらない、まるで昨日のことのような、サワヤカ律子サンでした。
国境やことばを越えたコミュニケーション。それが、image。私たちは過去に例のない質と量と速度の「imageの世紀」を、すでに迎えています。光学、化学、電子工学から認知科学の領域まで。フジフィルムは「imageを科学する」世界的フロンティアとして、これからも進みます。



VOL.
FUJICOLOR
ピクトロプリント
FUJIFILM
I&I-Imaging & Information
www.fujifilm.co.jp

imageする会社。FUJIFILM